令和６年度　小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人　高田福祉会	代表者	大堀　芳和
事業所名	ケアホーム笛吹の里	管理者	中村　啓一郎

法人・事業所の特徴	平成 20 年 6 月に併設するサテライト型特別養護老人ホーム笛吹の里とともに開設。のんびりと穏やかな雰囲気の事業所です。地域交流が広がり恒例となった夏の納涼祭には毎年たくさんの方から参加いただき、多世代間交流の場となっています。法人理念は「笑顔あふれる毎日」。利用される方それぞれの「その人らしい暮らし」「～したい」が少しでも実現できるように、本人の思いを大切にして、家族や地域の理解や協力をいただきながら「訪問」「通い」「泊まり」を組み合わせた柔軟な介護サービスの提供で地域での暮らしをサポートします。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	０人	２人	２人	１人	１人	１人	０人	５人	０人	１２人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
Ａ. 事業所自己評価の確認	**今年度実施できなかった改善計画を感染状況を見ながら実施していく**	地域との関わりは継続できた。	地域との関係を地道に築いており良いと思う	
Ｂ. 事業所のしつらえ・環境	**地域の方と交流が図れるような中庭を利用者と共に整備する**	ベンチや日さしの設置、芝桜ガーデンへ向けた整備等、過ごしやすい環境整備に励んだ。	特になし	**引き続き地域の方と利用者が交流を図れるような中庭の整備を利用者と共に行う。 芝桜拡張、くつろげる環境整備を行う予定である。**
Ｃ. 事業所と地域のかかわり	**地域のサロンや広報誌を通じて事業所の役割や見学の案内などを発信し、地域に頼られる事業所を目指す**	感染症の流行によりサロンへの参加は前年度よりも減少した。地域のイベントには参加できているが、地域のニーズを十分に把握できていないため、なかなか地域との関わりが増えていかない	特になし	**まちづくり振興会に参加し地域のニーズを把握すると共に広報誌やＳＮＳ等を通じて 事業所の役割や事業所内の様子、見学の案内などを発信し、地域に頼られる事業所を 目指す**

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	**家族や民生委員、各地区の地域包括支援センターを通じてサロンやイベント開催情報を収集し、利用者・家族に提案する**	三郷地区のイベントに関して、提案はできたが、他地区の提案はなかなかできなかった。	特になし	**三郷地区、津有地区のイベントに参加（出店等も含む）**
E. 運営推進会議を活かした取組み	**運営推進会議の検討項目をより具体的な内容にすることで地域の困り事などに活かす （継続）**	検討項目を具体的にしたことで地域の状況を把握することはできた。	特になし	**運営推進会議の検討項目をより具体的な内容にすることで地域の困り事などに活かす**
F. 事業所の防災・災害対策	**今年度の改善計画を継続。 来年度は市職員も運営推進会議に参加予定にて一般避難所と施設との連携についても検討していく**	市職員はほとんど参加されなかったが、災害時の連携について協議できた。	一般避難所で対応が難しい方は施設で受け入れをお願いしたい。 地域の人が参加できる訓練を引き続きお願いしたい。	**災害時に地域の方に対し施設が提供できることを運営推進会議や広報誌、防災訓練を通じて発信する 引き続き地域の方が参加できる防災訓練を計画していく**